



編集後記

てんたの会が保全を訴え続けてきた天
覧山谷津の再生活動が始まりました。こ
こは住宅団地に開発される予定でしたが、
05年開発中止決定から3年目にしてこん
なニュースが飛び込んできました。この
土地の所有者である西武鉄道が、天覧山
周辺の自社の森に対して「社会・環境貢
献緑地評価システム (SEGES)」の認定
を取得し、本気で環境保全に取り組むこ
とになったそうです。環境に貢献する企
業としての今後に期待したいと思います。
浅野正敏

やませみ

52

発行日/2008年6月1日

編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)

埼玉県飯能市柳町18-17

- 申し込み用紙や機関誌「やませみ」は
「銀河堂」「Café豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。
投稿もお待ちしています。
URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会員募集中!!

1995年2月、西武鉄道による巨大団地開
発の計画がきっかけとなり「NPO法人天覧山・
多峯主山の自然を守る会」は、この地の自
然をいつまでもという思いで、様々な活動
を続けています。どうぞあなたも会員にな
って活動を支えてください。

*年会費

●正会員……………普通会員 2,000円
……………特別会員10,000円

●賛助会員……………1口10,000円

*会費・カンパ送り先

郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主
山の自然を守る会」00580-9-16342

「てんた里山基金」にご協力ください。

てんたの会では天覧山北東側にある谷津田「東
やつ」を買い取って、里山環境の保護活動を実践
して行こうというナショナルトラスト運動を進め
ています。そのために「てんた里山基金」を設立
しました。里山基金へのご寄付は下記へお願い
いたします。

<郵便振替>

名称/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
口座番号/00580-9-16342

日よう日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいた
くために毎月「ふる里散歩」を開催していま
す。お気軽にご参加下さい。

- ◆6月29日(日)「ほたるの夕べ」の巻
(要申込み 先着30名)
集 合/能仁寺山門前 午後7時
持ち物/長靴・懐中電灯
参加費/大人300円 子ども100円
問合せ、申込み先 (042-974-1691 浅野まで)

- ◆7月20日(日)
「国蝶オオムラサキを見よう」の巻
(要申込み 先着20名)
集 合/飯能市中央公民館 午前9時
(午前中で終了)
持ち物/長袖・長ズボン・帽子
(蜂対策で 黒色避ける)
参加費/200円
問合せ、申込み先 (さいたま緑のトラスト協
会: 048-824-3661)

- ◆8月10日(日)
「名栗川を歩いてみよう」の巻
集 合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/川を歩ける服装 (運動靴で)
着替え・飲み物・お弁当
参加費/大人300円 子ども100円

- ◆9月14日(日)
「秋の風を感じよう」の巻 (★雨天中止)
集 合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/飲み物・お弁当
参加費/大人300円 子ども100円

共催/はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態
系保護協会飯能名栗支部、はんのう市民環境会議



NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No. 52

2008.6.1

やませみ



もくじ

- 歌人・中西悟堂と飯能の山川/内田康夫 (駿河台大学名誉教授)
- 早春の谷津田観察記録/山梨光明 (守る会々員)
- 天覧山・多峯主山、環境省モニタリングサイト1000に内定!/大石 章 (守る会々員)
- やませみ掲示板
- 奥武蔵鳥瞰図好評発売中!
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ
- 編集後記

※当会のホームページアドレスです。どうぞおいでください!

<http://www.tenranzan.com/>

在りし日の中西悟堂氏
(昭和43年10月奥平武男氏撮影)



歌人・中西悟堂と 飯能の山川

駿河台大学名誉教授 内田康夫

中西悟堂という名を目にして、皆さんはどんなことを思い浮かべるでしょうか。

野鳥の父、日本野鳥の会の創立者、自然保護運動の先駆者——確かにその通りです。しかし、中西悟堂の功績はもっと広くもっと深いものがあります。

悟堂という名前は文人の号や筆名ではなく、法名です。つまり、本職のお坊さんです。明治四四年、調布の天台宗深大寺において十五歳で得度し、幼名の富嗣とみつぐから悟堂となり、以後、京都清水寺の末寺・長楽寺、松江市の名利普門院などの住職を経て、本山比叡山延暦寺の宗務庁に勤務、天台宗権僧正こんそうじょうから最後は僧正の位に就いた人です。



もう一つの顕著な側面が、歌人・詩人としての悟堂です。得度した翌年には、抒情詩社の同人となり、短歌・随筆・短編小説を次々と発表、斎藤茂吉、若山牧水、高村光太郎と親交を結び、二〇歳で第一歌集「唱名」しやうめいを出版

して歌人としての地歩を固めました。比叡山勤務のかたわら、第三歌集「武蔵野」を世に出した後、千歳烏山で草根木食そうこんもくじきの修行隠遁生活に入り、野鳥・蛇・昆虫などの生態研究に没頭、さらに米国の詩人ホイットマンやソローの「森の生活」の翻訳に励みます。その一方でインドの詩聖・劇作家のタゴールと親しく会見し、インドに誘われたりします。インド行きはインド独立戦争の余波を受けて実現しませんでした。

そして、昭和九年（1934年）、日本野鳥の会を創立。この時の協賛者には当時の学界、

文壇、画壇、ジャーナリズムなどの頂点を極めた人々が綺羅星の如く名を連ねています。機関誌「野鳥」は、現在で八三巻八六〇号に達しています。

戦後は、周知のような野鳥の会活動の中で、霞網かすみあみ・空気銃の撲滅、鳥獣法の改正、国際条約への参加など日本自然保護運動の根幹を作りつつ、



昭和二六年には宮中歌会始の詠進歌に選ばれ、同四八年には歌会始の召人めしう（歌の模範者として天皇に特に招かれた人）となります。こうして、昭和五九年（1984年）、転移性肝臓癌により八九年にわたる多彩な生涯を閉じたのです。さて、昨春、悟堂遺品の中から「檜山路」と題する未完の歌集が発見されました。これは、昭和二〇〜二二年の歌作三千余首の中より、歌人・窪田空穂が選抜した七百八十余首を編んだものです。この中に、飯能の山や川を詠み込んだものが多数見つかりました。詳しい経緯は後日に譲るとして、地名・地物の入った作を以下に掲げます。

加治の丘たもとほり来て春蘭しゅんらんの
あまねき径みちをいとしみにけり

梢うれのみは西日差しそふ常盤木とこわだの
下陰さむき羅漢の座いくつ

多峯主の常盤木山は黒くして
夕光ゆかりさむき径を行かしむ



*中西悟堂の歌集「檜山路」は今秋、春秋社から出版予定です。（やませみ編集部）

早春の谷津田観察記録

1月から4月にかけて天覧山の谷津田の観察を行った。

この季節の観察対象は何と言ってもアカガエル、ヒキガエル、

サンショウウオ等の両生類の産卵になるだろう。

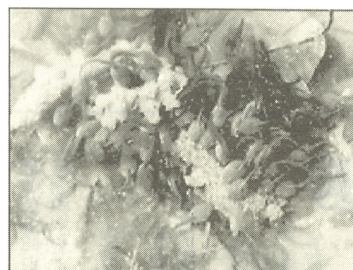
産卵の確認日、数、状態、孵化について1月10日から観察を開始した。

文・写真/会員・山梨光明

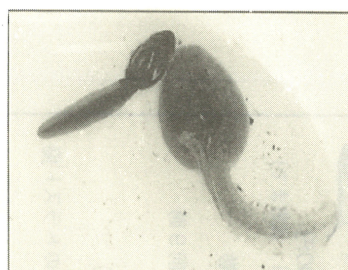
ヤマアカガエル

1月16日、2個の卵塊を確認。以降2月8日に1個、14日8個、15日5個、24日に1個とばらばらと産卵。そして機が熟したのか29日に70個の一斉産卵を確認、3月11日に1個、13日3個で終了。何と2ヶ月もかけている。卵は1つ1つが不規則にくっついて塊となり、どの卵塊も上部が水面から出る位の浅い場所を選んでいる。産まれたばかりの卵塊では透明な寒天質に包まれた黒い小さな卵が透けて見え、陽を浴びて光っている。

1月16日確認の一番早い卵塊は、何回もの氷漬けを繰り返し、34日かけて数匹が孵化、それ以外は22日、14日、12日と水温の上昇に合わせるかのように短くなっている。孵化の瞬間、幼生は思いっきり体を動かし寒天質の包みから次々と飛び出してくる。



ヒキガエルの卵塊を食べようと群がるアカガエルのオタマジャクシ



こんなに違いが…。大きい方がヤマアカガエル。小さい方がアズマヒキガエル。

アズマヒキガエル

3月30日、池の底で無数の帯状の卵塊を確認。1つの帯が数メートルにもなるこの卵塊は弱くて引くとすぐ切れてしまい数えられない。卵は帯状の寒天質の中に整然と2列に並んでいる。以降追加された気配はなく、このカエルは短期間に一斉産卵するのだろう。孵化までの日数も発見から6日と非常に短い。この孵化が神秘的である。帯状の皮に穴があき、黒くダルマ胚まで成長した幼生は、この穴から寒天質をつけたまま浮き出してくる。非常に小さく未成長で孵化し、底に沈んで体力が付くまで全く動かない、死んでいるかのような状態。その後6日かかってようやく動ける状態になった。



産卵のためか、土の中から出てきたカエル。何とも眠たげ。



孵化直前の様子。未成熟のオタマジャクシが穴から出てくる。



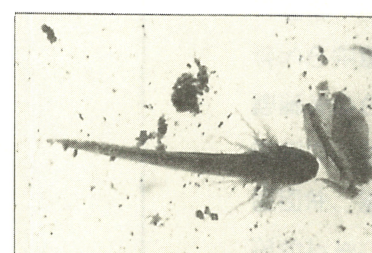
整然と2列に並ぶ卵



底に沈んで全く動かない。はじめ死んでいるのかと思った。

トウキョウサンショウウオ

3月23日に15対、30日に4対の卵塊を確認、この卵は三日月型の2個の卵囊が1対となり卵が数十個入っている。幼生はこれの中で泳げる程に成長し、弾力のある卵囊の皮は突き破ることが出来ないで片隅から次々と泳ぎ出し、水中呼吸用のエラを体外に付け俊敏に泳ぎ去る。



左/孵化寸前の卵
右/エラ呼吸のための3対のエラがある。カエルのオタマジャクシと違い、この時点で俊敏に泳ぐことが出来る。(体長約15mm程)

今年〆産卵数

アカガエル107個 ヒキガエル約12帯 サンショウウオ19対

今回の観察でヤマアカガエル、アズマヒキガエル、トウキョウサンショウウオの産卵を多く確認することができた。今後の変化を楽しみに、これからも観察を続けるつもりだ。

天覧山
多峯主山が
環境省
モニタリングサイト1000に
内定しました。

文・写真/会員 大石 章



ツマキチョウ (4/27)

モニタリングサイト1000とは、動植物の状況等を100年間継続調査するサイトを全国に千か所設置し、自然環境の長期的変化を把握しようという環境省の壮大なプロジェクトです。

原生林、里地里山、河川、湖沼、海岸など、それぞれの生態系のタイプごとに調査サイトを設置していますが、4月末、天覧山・多峯主山地域が、全国約200の里地里山サイトの1つに内定しました。ある意味、日本の里地里山の代表になったわけです。

天覧山谷津では、はんのう市民環境会議が里山復元プロジェクトを進めています。てんたの会では、以前実施した自然環境調査の継続と合わせ、このプロジェクトの効果検証の観点からも、モニタリングサイト1000に応募していました。調査項目は、植物相、カヤネズミ、カエル類、チョウ類、ホタル類の5項目で、各項目について年間2〜10数日、当面5年間調査することになります。

今後、関係書類の提出を経て、正式に登録されます。専門家だけでなく可能な比較的簡単な調査です。

興味のある方、是非参加して下さい。
あと百年長生きしましょう。

興味のある方
調査に是非参加して下さい。
連絡先
ezh01701@nifty.com
(大石)



天覧山、多峯主山、守る会関連の
催しをお知らせするコーナーです。
みなさん、ふるってご参加下さい！

6/21 (土)
座談会

時間/午後1時〜
場所/飯能市福祉センター
分野の違う市民活動団体が支
援し合える関係を築こうと「市
民活動ネットワークを進める
会」が発足しました。この日
は、当会代表の浅野正敏の発
言の後、座談会を行います。

6/29 (日)
講演会

時間/午後1時〜
場所/富士見公民館
はんのう市民環境会議主催
で講演会を開催します。講
演者は世界七大陸最高峰登
頂者の大山光一氏で、演題
は「私の自然観・・・」です。

10/17(金)〜19(日)
第16回全国雑木林会議

第16回全国雑木林会議が飯能
市で開催されます。現在、地
元の特徴ある大会にしたいと
実行委員会が立ち上がり準備
を進めています。

「奥武蔵鳥瞰図」好評発売中!!

パノラマ風景画家、友利宇景氏制作による「奥武蔵鳥瞰図」
ができました。名栗湖を通って飯能市内を流れる名栗川と、
巾着田に注ぐ高麗川の流れに挟まれて秩父へと続く山々が、
飯能上空から一望するように描かれています。飯能の街のよう
すや、歩いた山の位置などをもう一度確かめてみませんか。
1部1000円B2版(タテ728×ヨコ515)

飯能市内の「めいわどう」(TEL042-972-2010)「宮脇
書店」(TEL042-973-8254)などで販売しています。郵送
ご希望の方は10枚まで送料800円でお送りします。郵便振
替での入金確認次第発送します。下記振り込み口座へ「鳥瞰
図何枚希望」と明記の上ご送金ください。

*収益金はすべて当会の自然環境保全のための活動資金に充てられます。

「てんた里山基金」郵便振替口座

名称/NPO法人 天覧山・多峯主山
の自然を守る会
口座番号/00580-9-16342